科目名	英語教育方法論特講	担当者	ロックリー トーマス	期間	通年	単位数	4

【科目概要】

目　　的	内容言語統合型学習（Content and Language Integrated Learning（CLIL））は、第二言語の語彙力とコミュニケーション能力を養うことができるよになることを目的とする。この学習方法は、世界中のより多くの国で取り入れられてきています。CLIL の特徴は、時事問題や異文化理解についてのトピックに触れ、共同学習を通し、言語知識・スキルを高めるだけでなく、様々な思考力を育成できることである。 このコースで受講者は、CLIL の理論について学び、実際の学習環境において自身で授業計画を作成し、振り返られるようになる。
到達目標	【一般目標（GIO)】 CLIL の理論と学習環境での実際の実践について学習する。 【行動目標（SBOs)】 1）CLIL の基盤となる概念枠組みを説明できる。 2）CLIL がどのように受講者の学習状況で使用されるか、または使用される可能性があるかを説明できる。 3）CLIL の概念的枠組みを使用して、受講者は CLIL の実践例が書かれている論文を読み調べ、2つ（あるいは 3 つ）の事例を要約し、CLIL としての妥当性などを講評する。そして自身の教育環境や状況に対応する CLIL レッスンを計画し、計画についてリポートを執筆する。 4）CLIL の理論と実践について学んだことを振り返る。
学修方略 （方法）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・manaba folio のコレクションを利用して，インタラクイブな個別指導を受ける。 ・図書館，インターネットで自律的に論文を検索して，リポートを作成する。 【学修方略（LS）と学修時間】 （自習）教材の熟読，さらに，オープンエデュケーション教材（Open Educational Resources: OER）（例 academia.edu，researchgate.net，J-CLIL Journal 等）による自律的学習 （自主研究）参考文献の検索と熟読 （リポート作成）リポートの作成・教員によるコメントにリポート推敲 リポート課題１つにつき，完成までに以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要するものとする。 1）教材の学修：20 時間　2）リポート執筆：10 時間　3）リポート推敲と最終の完成（教員の添削指導：15 時間
スケジュール	＜前期＞　・リポート課題１　締切：６月末（初稿）　前期締切日（最終稿） ・リポート課題２　締切：８月末（初稿）　前期締切日（最終稿） ＜後期＞　・リポート課題１　締切：１０月末（初稿）　後期締切日（最終稿） ・リポート課題２　締切：１２月末（初稿）後期締切日（最終稿）

成績評価	種　別	割合	評価基準
	リポート	80%	論旨明確さ，独創性，構成，文章表現の妥当性，引用の適切性等 ★前期リポート課題１，２と後期リポート課題１は最終稿で評価する。 ★後期リポート課題２は最終試験として初稿で評価する。
	観察記録	20%	リポート添削への対応等

履修者への要望	1）積極的な態度で CLIL にアプローチすること。 2）批判的な態度で実践的な計画を考える。全てが完璧であることを期待しない様にしましょう。 3)レポートは担当教員のフィードバックのよる書き直しを繰り返しながら(特に英文の場合）最後稿が締め切りに間に合う様、計画的に進めること。締め切りに変更が必要な場合は担当教員まで連絡する。 4)日本の教育現場で英語を教える受講者は、英文でレポートの作成を行うこと　（不可の場合は日本語でも可。） ！重要！後期に使用する教材は早めに購入すること。購入が難しい場合は担当教員にメールで相談すること。

【リポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名：Do Coyle, Philip Hood, David Marsh 教材名：CLIL－Content and Language Integrated Learning (Cambridge University Press, 2010) 約４４００円（税込み）
	この本はCLILに関する包括的な概要を提供しています。 この理論をまとめ、実際の実践について説明しています。
参考図書	1） CLIL 新しい発想の授業 － 理科や歴史を外国語で教える！？－。笹島 茂 他 （ 三修社、２０１１年）2750円 （税込み） ２）OER（例 academia.edu, researchgate.net, J-CLIL Journal 等）
履修上のポイント	CLILの概念的枠組みは、柔軟な方法で言語指導と学習改善を提供している。受講者は常に、CLILについて学んだことを自身の環境や状況に関連付けるように心がけること。
リポート課題１	基本教材1 Chapter 1 ～ Chapter 4を読んで、CLILの概念的枠組みについて解説する （英語1500-2000 words、日本語3,000字～4,000字)。 **留意点**：参考図書とOERで探した文献も参考に、CLILの授業法を考える。
リポート課題２	基本教材1 Chapter 5 ～ Chapter 8を読んで、CLILが学習環境でどのように使用されるか、または使用される可能性があるかを説明する。 （英語1500-2000 words、日本語3,000字～4,000字)。 **留意点**：参考図書とOERで探した文献も参考に、CLILの授業法を考える。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名：和泉 伸一 教材名：CLIL(内容言語統合型学習):上智大学外国語教育の新たなる挑戦 第3巻 授業と教材。 （ぎょうせい, ２０１６年） １７６０円（税込み）
	この本には､順序関係なく使用できる幅広いCLILアクティビティが含まれている｡付属のCD-ROMには､印刷可能なCLILアクティビティが入っている。受講者は、自分のCLILレッスンを計画するのに役立つアイデアと活動を活用することができる。
参考図書	１）CLIL Activities with CD-ROM: A Resource for Subject and Language Teachers. Liz Dale and Rosie Tanner(Cambridge University Press)約４４００円(税込み) ２)Understanding Language Classroom Contexts - The Starting Point for Change. Martin Wedell and Angi Malderez (Bloomsbury, 2013) 約３８００円（税込み） ３）OER（例 academia.edu, researchgate.net, J-CLIL Journal 等）
履修上のポイント	参考図書や論文をできるだけ参照して，自分の現場を念頭に置いた授業計画を考案する。
リポート課題１	基本教材 Part 1 ～ Part 3.6を読んで、学習したCLILの概念的枠組みを使用して、環境や状況にに合わせてCLIL授業計画作成する、およびCLILの実践例を批判的に分析する。 （英語1500-2000 words、日本語3,000字～4,000字)。 **留意点**：参考図書とOERで探した文献も参考に、CLILの実践を考える。
リポート課題２	参考図書３「OERから調べた２つの論文」を読んで、CLILの理論と計画を作成して学んだことを振り返る。 （英語1500-2000 words、日本語3,000字～4,000字)。 **留意点**：OERで探した文献も参考に、CLILの実践法を考える。

基本教材１

第１回	教材の学修：基本教材１ Chapter 1
第２回	教材の学修：基本教材１ Chapter 2
第３回	教材の学修：基本教材１ Chapter 3
第４回	教材の学修：基本教材１Chapter 4
第５回	リポート課題１：初稿の作成
第６回	リポート課題１：添削指導に対する修正稿の作成
第７回	リポート課題１：最終稿の作成
第８回	教材の学修：基本教材１ Chapter 5
第９回	教材の学修：基本教材１ Chapter 6
第 10 回	教材の学修：基本教材１ Chapter 7
第 11 回	教材の学修：基本教材１ Chapter 8
第 12 回	OER による研究論文の検索と分析（例 adamemia.edu, researchgate.net, J-CLIL Journal 等）
第 13 回	リポート課題２：初稿の作成
第 14 回	リポート課題２：添削指導に対する修正稿の作成
第 15 回	リポート課題２：最終稿の作成

基本教材２

第１回	教材の学修：基本教材２の第１章と第２章の学修
第２回	教材の学修：基本教材２の第３章と第４章の学修
第３回	教材の学修：基本教材２の第５章と参考図書１の中から自分の環境に合わせて自由に選んでください
第４回	教材の学修：基本教材参考図書１の中から自分の環境に合わせて自由に選んでください。
第５回	OER による研究論文の検索と分析（例 adamemia.edu, researchgate.net, J-CLIL Journal 等）
第６回	リポート課題１：初稿の作成
第７回	リポート課題１：添削指導に対する修正稿の作成
第８回	リポート課題１：最終稿の作成
第９回	CLIL の実践例を論文で調べて、１つの事例を要約し、CLIL としての妥当性などを講評する。
第 10 回	CLIL の実践例を論文で調べて、１つの事例を要約し、CLIL としての妥当性などを講評する。
第 11 回	授業計画
第 12 回	授業計画
第 13 回	リポート課題２：初稿の作成
第 14 回	リポート課題２：添削指導に対する修正稿の作成
第 15 回	リポート課題２：最終稿の作成